

市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、令和4年5月1日現在)

学校紹介の内容

- ＜教育目標＞
- ＜研究主題＞
- ＜重点教科等＞
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 25学級 校長 小松 薫樹
児童数 728人 教頭 須賀 由美



- ＜教育目標＞
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- ＜研究主題＞
主体的に学習に取り組み、互いに高め合う児童の育成
～児童の個に応じた指導の工夫と児童が意欲的に
学び合える授業づくりをととして～
- ＜重点教科等＞
算数科「学力向上と授業力の向上」
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
未来へはばたけけやきつ子 ～夢を育む草加小学校～
- (2) 取組内容
 - ① 児童一人ひとりを大切にした教育活動の推進
 - ・日々の授業の充実を図る研修への取組
 - ・「夢を育む草加小学校」を目指した授業の実施
 - ② 地域と共に歩む学校
 - ・家庭・学校・地域が一体となった教育の推進
 - ・「おはなしの森」地域の人材による読み聞かせ
 - ・学校応援団の充実
 - ③ 潤いのある学校づくり
 - ・「ふるさと森」「じゃぶじゃぶ池」の整備と教材活用
 - ・開校150周年記念行事を通し、愛校心を育む
- (3) 成果
 - 家庭・学校・地域が一体となり、けやきつ子の夢を大切に
する教育活動、学習の定着が図られている。
 - 気持ちのよい挨拶ができるようになってきている。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 27学級 校長 石崎 明子
児童数 825人 教頭 鈴木 克裕



- ＜教育目標＞
あかるく かしこく たくましく
- ＜研究主題＞
できた！！ わかった！！ という実感を伴う授業の構築
- ＜重点教科等＞
- (1) 幼保小中を一貫した教育
- (2) 国語科
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校
- (2) 取組内容
 - ① 学力向上
 - ・校内研修（授業参観Week等）を充実させ、教職員一人
ひとりの授業力向上
 - ② 幼保小中を一貫した教育
 - ・定期的な交流・挨拶運動
 - ③ 健康・体力の維持・増進
 - ・すすく委員会（学校保健・安全委員会）の実施
 - ・さわやかタイム等体育的諸活動の充実
 - ④ 読書活動の推進
 - ・朝読書の推進
 - ・図書ボランティアによる読み聞かせの充実
 - ・図書館便りの発行、図書館内の掲示物・表示物の充実
- (3) 成果
 - 「主体的に活動できる場」「友達との交流の場」を効果的に
設定し、自己肯定感と自己有用感を高めることができた。
 - 読書を推進する学校全体の取組により、読書に親しむ児童が
増加し、一人あたりの貸出冊数が増えている。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 17学級 校長 小崎 賢司
児童数 403人 教頭 山本 武



- ＜教育目標＞
よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子
- ＜研究主題＞
学びの生活化・社会化
～人・地域・自然との関わり 15歳の姿を育む～
- ＜重点教科等＞
生活科・総合的な学習の時間を中心に
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
やる気・本気・根気・勇気
- (2) 取組内容
 - ① 基礎学力の向上（知）
 - ・主体的・対話的で深い学びの授業実践
 - ・ユニバーサルデザインの視点で授業づくり
 - ・授業の中で「自己肯定感・自己有用感」を育む
 - ・ICTを効果的に活用した学習活動の充実
 - ② 豊かな心の育成（徳）
 - ・人権意識の高揚を図る道徳教育の充実
 - ・場に応じたあいさつ・言葉遣い、はっきりした返事
 - ・身の回りをそろえる・整える習慣
 - ・黙動清掃
 - ・正しい廊下歩行
 - ③ 健康・体力の向上（体）
 - ・食育指導（栄養指導とフードロス解消）
 - ・保健指導の徹底（歯磨き指導、ウイルス対応）
 - ・外遊びの奨励（運動の日常化）
- (3) 成果
 - 身近なところから課題を設定し、他教科とのつながりを見据えた指導を行っ
たことで、既習の学習を実際生活や他教科でいかそうとする態度が育ってき
た。
 - 幼保小中を一貫した教育の推進を図ってきたことから、各学校種間の接続が
スムーズに行われるようになってきている。
 - 学校・家庭・地域が連携して働きかけることで、児童のあいさつの習慣が身
に付いてきている。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
 学級数 24学級 校長 菅野 光三
 児童数 684人 教頭 磯川 剛



- <教育目標>
 やさしく つよく かしくく
- <研究主題>
 主体的・対話的で深い学びの実現
 ～国語科・算数科・特別の教科 道徳の指導を通して～
- <重点教科等>
 全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 ふるさと ふれあい 谷塚小学校
 (2) 取組内容
 全職員の「熱意・誠意・創意」を結集させ、信頼される学校づくりを推進する。
 ① 基礎・基本の定着
 ・学習規律の徹底 「谷塚小スタンダード」の継承
 ・朝自習（算数タイム：E-Time：国語タイム）の工夫
 ・「家庭学習のすすめ」を踏まえた家庭学習の充実
 ・「草加サタデースクール」の効果的な運用
 ② 幼保小中を一貫した教育を推進する取組・活動の充実
 ・児童一人ひとりを大切に、確かな学力を身に付けさせる指導法の研究
 ③ 学習意欲を高める教育環境の構築
 ・ICTの積極的な活用（電子黒板・タブレット型PC等）
 ④ 生徒指導・いじめの根絶
 ・基本的生活習慣の確立（あいさつ・返事・廊下歩行）通年
 ・いじめ防止推進法の改正に伴う保護者等への周知徹底
 ⑤ 家庭・地域・中学校との連携《絆を深める教育活動》
 ・「8が付く日は谷塚の日」あいさつ運動の取組
 ⑥ 複合施設としての利点をいかした教育活動の創意工夫
 ⑦ 学校運営協議会（コミュニティースクールの充実）
 ・地域の方々の教育力をいかした活動の推進
 ・学校（児童・教職員）の地域活動への参加
 (3) 成果
 ○元氣な挨拶を交わし、学校大好きな児童が増加
 ○家庭・地域力をいかした特色ある教育活動の充実
 ○ICTの積極的な活用による授業力の向上

栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
 学級数 23学級 校長 鈴木 輝子
 児童数 648人 教頭 関 敬之



- <教育目標>
 よく考える子 思いやりのある子
 ねばり強い子 体をきたえる子
- <研究主題>
 児童が生き生きと活動する授業づくり
- <重点教科等>
 図画工作科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 さわやか かっさ えがお の さかえ
 (2) 取組内容
 ① 学級・学年経営の充実
 ・魅力ある学級づくり ・常に歩前進を目指した学級・学年経営
 ② 学習指導の充実
 ・栄小スタンダードの充実と発展 ・図画工作科の研究
 ・魅力ある授業の充実 ・読書活動の推進 ・家庭学習の充実
 ③ 豊かな心を育む指導の充実
 ・道徳教育の充実 ・人権教育の推進 ・特別活動の充実
 ・「いのちの大切さ」を実感する教育の推進
 ④ 健康な体づくりの推進
 ・体力向上の推進 ・健康の保持増進に係る指導の充実
 ⑤ 生徒指導の充実
 ・積極的・組織的な生徒指導の推進
 ・いじめの撲滅、不登校の解消 ・教育相談の充実
 ⑥ 開かれた学校づくりの推進
 ・地域・家庭との連携の強化
 ・コミュニティースクールの充実
 ・幼保小中を一貫した教育の推進（ふるさと草加の取組）
 ⑦ 特別支援教育の推進
 ・交流教育の充実 ・関係諸機関との連携
 (3) 成果
 ・図画工作科の研修に取り組み、教師の指導力が向上し、児童の表現能力等を高めることができた。
 ・幼保小中を一貫とした教育の取組や学校運営協議会の実施により、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進することができた。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
 学級数 22学級 校長 谷口 慎一
 児童数 559人 教頭 長谷川 淳



- <教育目標>
 かしくく なかよく たくましく
- <研究主題>
 学ぶ喜びを味わわせる国語科授業の創造
 ～読解力を高める説明的な文章の指導法～
- <重点教科等>
 国語
- <特色ある学校づくりへの取組>
 1 キャッチフレーズ
 子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と活気あふれる川柳小
 2 取組内容
 (1) 主体的な学びを育む授業づくりの推進
 ・校内研修を通じた授業改善の推進
 ・相互授業参観の活性化
 (2) 学力・体力の向上
 ・教科担任制の導入
 ・読解力・表現力を高める朝学習（チャレンジタイム）
 ・効果的に活用するICT教育の推進
 ・「さわやかマラソン」「さわやかなわとび」の実施
 (3) 学習規律の徹底・家庭学習の定着
 ・基本的生活習慣についての家庭と学校の連携
 ・家庭学習の授業との連携と習慣づけ
 (4) いじめ、不登校対策の徹底
 ・組織的な対応によるいじめの早期発見・適切対応
 ・関係機関（ソーシャルワーカー・支援センター等）との連携による教育相談体制
 (5) 心の教育の推進・充実
 ・「考え、議論する」道徳授業の実践
 ・安心・安全で潤いのある教育環境づくり
 (6) 幼保小中を一貫した教育の推進
 ・地域の幼稚園、保育園、中学校との相互訪問、情報交換の充実
 ・令和4年度青柳中学校区「安全教育総合支援事業」
 3 成果
 ・組織的な研修を推進することにより、授業改善や家庭学習の充実を図ることができてきている。
 ・積極的な生徒指導の取組により、児童の自己肯定感を高めている。

瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 20学級 校長 奥村 勇
 児童数 543人 教頭 蘇武 敏行



- <教育目標>
 心豊かで たくましい子
- <研究主題>
 未来を創る「探究心」のある児童の育成
 ～カリキュラムマネジメントを通じた「SDGs」の探究～
- <重点教科等>
 総合・生活
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 まなびいっぱい たくましさいっぱい やさしさいっぱい
 (2) 取組内容
 ① まなびいっぱい
 ・委嘱研究の推進（探究的な学習・SDGs教育の推進）
 ・ICTの積極的な活用（GIGAスクール構想の推進）
 ・落ち着いた学級経営（学習規律と良好な友だち関係）
 ② たくましさいっぱい
 ・体力の向上（体育授業の充実、運動遊びの活性化、けん玉の奨励）
 ・保健教育（健康な体づくり、早寝・早起き・朝ごはん）
 ・食育の充実（栄養教諭の授業参加、給食だよりの発行）
 ③ やさしさいっぱい
 ・心の教育の充実（道徳教育の充実、あいさつの推進、いじめを許さない学級・学校づくり）
 ・学習環境の整備（清掃活動の徹底、掲示の工夫）
 (3) 成果
 ○ICTを積極的に活用し、教育活動を進めることができた。
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しながら、工夫して教育活動を進めることができた。

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 23学級 校長 須賀 達也
 児童数 651人 教頭 佐々木 和寿



- <教育目標>
 よく考え 工夫する子
 心豊かで 思いやりのある子
 たくましく ねばり強い子
- <研究主題>
 プログラミング的思考を育む学びの実践
 ～情報活用能力の育成を通じたプログラミング教育～
- <重点教科等>
 (1) 幼保小中を一貫した教育の推進
 (2) ICTの活用
 (3) 新しい時代に必要とされる資質や能力の育成
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
 (2) 取組内容
 ① 標準カリキュラムを活用した15年間の学びの確立
 ② 草加中学校区の15歳の姿を見据えた教育活動の推進
 ③ デジタル教科書等、ICTの積極的な活用
 ④ ネットモラル教育の充実
 ⑤ GIGAスクール構想の具体化
 ⑥ 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
 ⑦ 「外国語科・外国語活動」の充実
 ⑧ プログラミング教育の推進
 ⑨ 読書活動の推進
 (3) 成果
 ○学校教育目標を具現化するため、「潤いと品格のある西町小」を目指す学校像として、組織的に教育活動を推進している。
 ○コロナ禍においても、常に創意工夫を心がけ、保護者・地域の協力のもと教育活動の充実が図られている。
 ○組織的・計画的な校内研修により、プログラミング教育及び読書活動の推進が図られている。

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
 学級数 22学級 校長 柳田 加代
 児童数 665人 教頭 萩野 貴之



- <教育目標>
 かしく なかよく たくましく
- <研究主題>
 自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童・生徒の育成
 ～「わかる・できる」学びと「ともに楽しい」学びの創造～
- <重点教科等>
 国語科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 につこにこ さわやかあいさつ ともだちいっぱいの新里小
 (2) 取組内容
 ① 学力の向上
 ・「わかる、できる、ともに楽しい」授業づくり
 ・ぐんぐんタイム、本とのふれあいタイム、家庭学習の習慣化
 ② 豊かな心と規律ある態度の育成
 ・「新里小あいさつ」実践
 (挨拶、いじめ防止、運動、笑顔、勉強)
 ・新里小の生活のきまりの遵守(新里小「うばひ」の約束)
 ③ 健康教育の推進
 ・体育授業の充実、ロング昼休みの実施
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底
 ④ 地域とともにある学校づくり
 ・学校応援団を始めとした地域・家庭との連携・協力
 ・地域人材をいかした授業(皮革体験学習等)
 ⑤ 働き方改革の推進
 ・働き方改革委員会を中心とした取組「すいすいデー」の実施
 ・目的を明確にした学校行事の精選及び改善
 (3) 成果
 各種アンケート結果から、児童は学校が楽しいと感じ、友達となかよく過ごしていると感じている。また、人を傷つけない心や思いやりの心が育っている。

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
 学級数 17学級 校長 小林 和美
 児童数 536人 教頭 鈴木 孝夫



- <教育目標>
 考える子 思いやりのある子 体をきたえる子
- <研究主題>
 自ら考えを深め、よりよく学びあう子どもの育成
 ～学級力・授業力の向上を目指して～
- <重点教科等>
 算数科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 あいさつじまん どくしょじまん そうじじまん
 (2) 取組内容
 ① 一人ひとりの個に応じた教育の推進と確かな学力と生きる力の育成
 ・学びは子どもの夢と希望の中核
 ② 心潤う生徒指導による豊かな心の育成
 ・一人ひとりが「かけがえのない存在」
 ③ 人権を大切にする教育の推進
 ・自然に笑顔になれること・人も自分も幸せであること
 ④ 体育的活動の充実と体力の向上の推進
 ・児童一人ひとりの課題に応じた取組に重点を置き、総合的な体力の向上を図る
 ⑤ 安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備
 ・命、安全を守るため、安全管理や指導の徹底を図る。
 ⑥ 地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛され信頼を深める特色ある学校づくりの推進
 ・家庭・地域・関係機関等と一体となった教育を推進する。
 (3) 成果
 ○「あいさつじまん 南っ子」をキャッチフレーズとして、さわやかなあいさつが定着している。
 ○家庭・地域・学校が一体となった教育を実施している。

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
 学級数 26学級 校長 寺本 博美
 児童数 745人 教頭 小沼 健寛



- <教育目標>
 勉強する子 良い子 強い子
- <研究主題>
 自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり
 ～わかる・できる・楽しいと児童生徒が
 実感できる授業を通して～
- <重点教科等>
 算数科・国語科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 子どもたちがよさや可能性を発揮できる八幡小
 (2) 取組内容
 ① 「やる気で勉強」
 ・個に応じた教育の推進と確かな学力の育成
 ・GIGAスクール構想の推進
 ② 「はっきりあいさつ」
 ・心潤う生徒指導による豊かな心の育成
 ・人権を大切にする教育の推進
 ③ 「たくさん運動」
 ・体育的活動の充実と体力の向上
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
 ・安全安心で美しく潤いのある教育環境の整備
 ④ 「生きる力を共に教える学校・家庭・地域の絆」
 ・地域に誇れる学校づくり
 ・読み聞かせ、地域パトロール(みはるくん)、農業体験
 (3) 成果
 ○研修の積み重ねにより授業改善を行い、学力が向上した。
 ○ICTの活用を進め、意欲的に学習する児童が増えた。
 ○学校・家庭・地域が一体となり、工夫して教育活動を進めることができた。

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 15学級 校長 野村 真一
 児童数 405人 教頭 藍原 正明



- <教育目標>
 なかよく かしく たくましく
- <研究主題>
 夢や希望をもち、学び続ける子どもの育成
 ～主体的に学びに向かう力の育成を通して～
- <重点教科等>
 国語科・算数科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 あたり前の事があたり前にできる
 —継承の中の創造・全力で挑戦—
- (2) 取組内容
- ① 確かな学力を育む教育
 - ・児童の発言をいかした授業の推進
 - ・タブレット型PCを活用した授業の深化
 - ・教科担任制授業の推進
 - ・「新栄中学校区家庭学習チャレンジ週間」
 - ② 豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育
 - ・あいさつ運動
 - ・考え、議論する道徳授業の推進
 - ・学級活動の授業の充実（学級会年間10回以上）
 - ・花いっぱい活動（植栽ボランティア）
 - ③ 体力向上・健康教育
 - ・目標をもち、最後までやり抜く児童の育成
 - ・健康教育の充実（新型コロナ・命の教育を含む）
- (3) 成果
- 授業改善を通して児童の学習に対する意識が高まり、自ら進んで学ぼうとする児童が増えてきた。
 - 授業と家庭学習の相乗効果により学びが深まり、個人の関心に応じた主体的な学びへとつながっている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 30学級 校長 坂本 拓也
 児童数 827人 教頭 撰 郁子



- <教育目標>
 なかよく かしく たくましく
- <研究主題>
 夢や希望をもち、学び続ける子どもの育成
 ～主体的に学びに向かう力の育成を通して～
- <重点教科等>
 全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 『勢い』と『潤い』のある『カラフルな』清門小
- (2) 取組内容
- ① なかよくの具体化
 - ・いじめはしない、させない、ゆるさない
 - ・「友だちの日」に互いのよいところを認め合う自己肯定感を高める活動の充実
 - ・「環境が人を育てる」心を豊かにする掲示物
 - ② かしくの具現化
 - ・幼保小中一貫教育で系統的な教育の実施
 - ・読書の励行、学校図書館活用の推進
 - ・保護者の協力のもとによる家庭学習の定着
 「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」
 「新栄中学校区家庭学習チャレンジ週間」
 - ③ たくましくの具現化
 - ・業前運動さわやかタイムの充実
 - ・家庭と連携した「早寝 早起き 朝ごはん」
- (3) 成果
- 幼保小中一貫教育、乗り入れ授業の実践により算数科の学力が向上した。
 - 「障がい者の日」など様々な問題を身近なこととして学ぶことで人権感覚が育ってきている。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 16学級 校長 中田 順一
 児童数 423人 教頭 村田 隆一



- <教育目標>
 自ら学び 心豊かに たくましく
- <研究主題>
 自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成
 ～各教科の指導と評価の一体化を通して～
- <重点教科等>
 算数科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 花さく 夢さく 笑顔さく
 明日への希望 いなりっ子
- (2) 取組内容
- ① 児童一人ひとりを大切にする教育の推進
 - ・松江中学校区小中一貫教育の取組
 - ・授業のユニバーサルデザイン化の取組
 - ・「稲荷小はなさくプラン」（学力向上策）の取組
 - ② 「働き方改革」の推進
 - ・「稲荷小働き方改革ランドデザイン」の取組
 - ・働きやすい職場づくりの取組
 - ・働きがいの高い職場づくりの取組
 - ・「稲荷小働きがい向上モデル」の作成
 - ③ 家庭・地域との協働
 - ・学校運営協議会との連携・協力
 - ・パトロールステーションとの連携・協力
 - ・学校紹介資料「よくわかる！稲荷小」の作成
 - ・「いなりっ子・共有プラン」の作成
- (3) 成果
- 埼玉県学力・学習状況調査や草加市学力・学習状況調査において、伸びが見られるようになってきた。
 - アンケート調査により、「学校が楽しい」、「授業が楽しい」と答える児童が増えた。
 - 児童の自己肯定感・自己有用感が高まってきた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 22学級 校長 岡村 勝成
 児童数 554人 教頭 長曾 亜希子



- <教育目標>
 学びあい 助けあって 自分を高める
- <研究主題>
 主体的・対話的で深い学びの実現
 ～生き生きと自分の考えを伝え合う子をめざして～
- <重点教科等>
 外国語・ICT・読書活動の推進（幼保小中一貫）
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 潤いと響き、子どもたち一人一人を
 大切にすあたたかな学校
- (2) 取組内容
- ① 子どもが伸びる学校
 - ・主体的・対話的で深い学びの授業の充実
 - ・ICT機器の活用（タブレットの有効活用）
 - ・教科担任制の充実（主に高学年）
 - ② 子どもたちが生き生きと活動する学校
 - ・あいさつ、返事、やさしい言葉がけの励行
 - ・いじめ防止推進委員会の充実
 - ③ 保護者・地域と共に歩む学校
 - ・コミュニティースクールの推進
 - ・幼稚園や保育園、中学校との連携・交流の推進
 - ・PTAや地域の活動、学校応援団との協力
 - ④ 教育環境を大切にする学校
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の共通理解・徹底
 - ・花を愛し、人を愛し、地域を愛する学校
 （木々の手入れ、季節の草花の世話）
- (3) 成果
- ALTと連携した外国語活動・外国語科の授業によりコミュニケーション力の向上を図ることができた。
 - ICT教育を充実させることで、主体的な学びを実現した。

八幡北小学校

創立年月日

昭和54年4月1日

学級数 15学級

校長 松本 由美

児童数 410人

教頭 森田 光信



長栄小学校

創立年月日

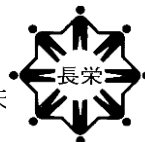
昭和55年4月1日

学級数 19学級

校長 嶋田 弘之

児童数 473人

教頭 畔上 賀津夫



<教育目標>

なかよく（徳） かしく（知） たくましく（体）

<研究主題>

『試す・知る・活かすことを楽しむ児童の育成』
～子どもの可能性を最大限に伸ばせる教育活動の実現～

<重点教科等>

算数・社会

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
知・徳・体の調和がとれた笑顔あふれる八幡北小学校
- (2) 取組内容
 - ① 聴く（読み取る）力・伝える力・書く力 3つを伸ばす
 - 主体的・対話的で深い学び
 - 各種学力・学習状況調査の分析・活用
 - ② 自分・関わり・感謝 3つを大切にできる
 - 特別活動の充実
 - 学級経営の充実
 - 道徳教育の充実
 - インクルージョンの推進
 - 交流・体験活動
 - ③ 食べる・動く・休む 3つのバランスを考え、健やかに育つ
 - 豊かなスポーツライフ
 - 自分の生命を守り育てる
 - ④ ICTの積極的な活用とGIGAスクールの活用
 - ⑤ コロナウイルス感染症対策の継続
- (3) 成果
 - 幼保小中を一貫した教育が深まり、校種間の連携をとることができた。
 - 集団や自己の課題に対し、合意形成を図ったり、意思決定したりする児童が増えた。

<教育目標>

よく考える子 思いやりのある子 たくましい子

<研究主題>

学びの生活化・社会化
～人・地域・自然との関わり 15歳の姿を育む～

<重点教科等>

幼保小中を一貫した教育

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
笑顔あふれる長栄っ子
- (2) 取組内容
 - 「生きる力」の理念に基づく徳・知・体の総合的な育成
 - ・豊かな人間性の育成（道徳的実践力）
 - ・確かな学力の育成（考える習慣、学力の素地づくり）
 - ・健康・体力の保持・増進（生命の尊重、感染予防、食育、安全と体力向上）
 - 幼保小中を一貫した教育課程
 - ・教科横断的カリキュラムの試行・実施
 - ・中学校教育を見通した高学年教育の充実
 - 『主体的・対話的で深い学び』の実現
 - ・児童理解に基づく学級経営
 - ・自己の変容の気づきと、見通しとふりかえりのある授業実践の継続
 - ・個別最適な学び、協働的・探究的な学びの充実
 - カリキュラム・マネジメントの実施
 - ・各種調査と幼保中特との連携及び家庭・地域（学校運営協議会）との連携による子どもの育ちの把握・改善・見届け
- (3) 成果
 - 「目指す子ども像」について、園、学校・家庭・地域での共通理解が図られ、幼保小中一貫教育を推進することができた。

青柳小学校

創立年月日

昭和57年4月1日

学級数 15学級

校長 土屋 貴一

児童数 371人

教頭 齋藤 智志



小山小学校

創立年月日

昭和57年4月1日

学級数 14学級

校長 岩渕 健志

児童数 394人

教頭 佐々木 紀剛



<教育目標>

あ：明るく元気な子 お：思いやりのある子
や：やりとげる子 ぎ：きたえる子

<研究主題>

自己肯定感・自己有用感を高められる児童生徒の育成
～「わかる、できる、楽しい」と
児童生徒が実感できる授業を通して～

<重点教科等>

全教科

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
① 笑顔で登校 明日を楽しみに下校する青柳小学校
【笑顔が一番】
- ② 三かけ教育の推進（目をかけ、声をかけ、心にかける）
- (2) 取組内容
 - ① 学力向上（やりとげる子）
 - ・専科教員による専門性の高い教科指導の実施
 - ・高学年一部教科担任制による指導の実施
 - ・国語タイム、算数タイム、読書タイムの年間実施
 - ② 体力向上（きたえる子）
 - ・校内実技研修会等の実施による教員の指導力向上
 - ・やぎっ子タイムを活用した外遊びの奨励
 - ③ 豊かな心（思いやりのある子）
 - ・道徳教育の充実
 - ・特別支援教育の推進
 - ・規律ある態度の育成
 - ・特別活動の充実
- (3) 成果
 - 青柳小授業スタンダードの活用により、教員の指導力向上及び児童の学力向上が図られつつある。
 - 幼保小中を一貫した教育の視点に立った指導を実施することで、幼保小並びに小中の円滑な接続が図られ、学校全体に落ち着きが見られるようになってきた。

<教育目標>

進んで学ぶ子 思いやりのある子 体をきたえる子 ねばり強い子

<研究主題>

自ら考えを深め、よりよく学びあう子どもの育成
～学級力・授業力の向上を目指して～

<重点教科等>

特別の教科 道徳 外国語科・外国語活動

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
「笑顔いっぱい」の夢ふくらむ学校
～地域と共にある学校づくり～
- (2) 取組内容
 - ① 進んで学ぶ子
 - ・授業5か条の定着
 - ・授業の約束の指導徹底
 - ・読書活動の充実
 - ② 思いやりのある子
 - ・道徳教育の充実・発展
 - ・いじめ防止基本方針の推進
 - ・ていねいな言葉づかい
 - ③ 体をきたえる子
 - ・走力、跳力の向上
 - ・外遊びの励行
 - ・学校保健、食育指導の充実
 - ④ ねばり強い子
 - ・日常的な成功体験の推進
 - ・勇気づけ、見届けの徹底
- (3) 成果
 - ・挨拶、返事、姿勢（腰立て）
 - ・ICTを活用した授業づくりの充実
 - ・はなまる学習コーナーの充実
 - ・ハートの日の活用
 - ・言語指導の充実
 - ・運動量豊富な体育授業の実践
 - ・早寝早起き朝ごはんの励行
 - ・5つの「します」の徹底指導
 - ・児童理解と個に応じた支援
- 幼保小中を一貫した教育による校種間の接続等の円滑化の推進が図られた。
- 道徳研修の推進により、豊かな心の醸成ができた。
- 地域・家庭・学校が一体となった教育活動の充実が図られた。

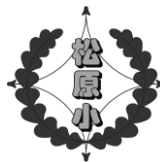
両新田小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 16学級 校長 帆玉 敬一
 児童数 436人 教頭 高橋 康子



松原小学校

創立年月日 平成21年4月1日
 学級数 16学級 校長 中村 哲也
 児童数 403人 教頭 赤坂 佳美



<学校教育目標>

進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子

<研究主題>

進んで学ぶ両小っ子の涵養を目指す算数科授業の設え
 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～

<重点教科等>

算数科

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) スローガン

学ぶ子われら 光る子われら 笑顔かがやけ 両新田小学校

(2) 取組内容

① 学習指導の充実

- ・算数科における基礎・基本の定着を目指した授業改善
- ・両小スタンダード・チャレンジタイム、ICTの活用
- ・家庭学習の充実(自主学習ノートの活用、家庭学習の手引き)

② 幼保小中を一貫した教育の推進

- ・目指す子ども像の共有・乗り入れ授業の充実

③ 安全・安心で開かれた学校づくり

- ・家庭・地域・関係機関との連携

(各種ボランティア・パトロール)

④ 生徒指導・教育相談

- ・特別支援教育の充実・積極的・組織的な生徒指導と教育相談
- ・問題行動、いじめの未然防止、早期発見・早期対応

⑤ 豊かな心の育成

- ・道徳教育・人権教育・特別活動の充実

⑥ 健康でたくましい児童の育成

- ・体育的諸活動の工夫・歯磨き指導の充実(フッ化物洗口)

(3) 成果

- ・授業改善と家庭学習の充実が図られ、学力を伸ばした児童が増えた。
- ・通常授業でICTを活用していたことによって、学級閉鎖や臨時休業の際にオンライン学習をスムーズに取入れることができた。

<教育目標>

心身ともに健康で、自ら学ぶ子

<研究主題>

『主体的に学び、自身の学力に結び付ける児童の育成』
 ～学習意欲を持たせ、確かな学力に結び付ける授業づくり～

<重点教科等>

国語科を中心とした学力向上を重点とした研究

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ

やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子

(2) 取り組み内容

① 『読書活動の推進』

- ・読書標語や本紹介カード作成の実施

② 『健やかな体づくり』

- ・業間時間でのマラソンや縄跳び運動の実施
- ・新型コロナウイルス感染症の中、規則正しい生活習慣の確立

③ 『松原小の基礎・基本の徹底』

- ・朝活動での、国語・算数の基礎・基本の定着の推進
- ・読書や国語辞典を活用した語彙力の向上

④ 『季節と心情あふれる全校児童による俳句づくり』

- ・俳句に親しみ、心豊かに育むための俳句作りの継続

⑤ 『幼保小中を一貫した教育の推進』

- ・「スタートカリキュラムの共有」「幼保小中一貫だよりの発行」

(3) 成果

- 一人あたりの本の貸し出し数の増加が見られた。
- 栄中学校区間や関係幼稚園、保育園との情報交換を密に行い、幼保小中を一貫した教育を継続して進めることができた。